

令和3年度

事業報告

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

公益財団法人 日本高等教育評価機構

目 次

I 法人の概況	1
II 項目別事業報告	4
1. 大学等の教育研究活動等の評価事業	4
(1) 大学機関別認証評価	4
【令和3年度認証評価】	
① 大学機関別認証評価の実施	
② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
⑤ 団長セミナーの開催	
⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催	
⑦ 評価のフォローアップに関する事業	
⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
【令和4年度認証評価】	
① 令和4年度大学機関別認証評価の申請受理	
② 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
(2) 短期大学機関別認証評価	7
【令和3年度認証評価】	
① 短期大学機関別認証評価の実施	
② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催	
③ 評価結果報告書の作成等	
④ 評価員セミナーの開催	
⑤ 団長セミナーの開催	
⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催	
⑦ 評価のフォローアップに関する事業	
⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業	
【令和4年度認証評価】	
① 令和4年度短期大学機関別認証評価の申請受理	
② 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催	
(3) ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価	9
2. 評価に関する調査・研究	9
(1) 評価基準等の調査研究	9
① 評価システムの改善	
② 大学の内部質保証に関する調査・研究	
③ 国内外の評価団体及び大学に対する調査・研究	

(2) 国際関係	1 1
① 諸外国の質保証機関等との交流促進	
② 国際会議への参加等による情報収集	
3. 機構の運営機能の充実・強化	1 1
(1) 評議員会及び理事会	1 1
(2) 監事監査	1 1
(3) 会員制度	1 1
(4) 企画運営会議の開催	1 2
(5) 評価充実協議会の開催	1 2
(6) 当機構の自己点検・評価等	1 2
(7) 職員等の研修の充実	1 2
(8) 業務時間の短縮	1 3
4. 広報及び啓発活動	1 3
(1) 広報委員会の開催	1 3
(2) 広報誌等の刊行	1 3
(3) 情報公開	1 3
(4) その他の情報発信	1 3
【附属明細書】	1 4

令和3年度事業報告

I 法人の概況

1. 法人設立年月日

平成16年11月25日（財団法人日本高等教育評価機構）
（平成24年4月1日 公益財団法人へ移行）

2. 定款に定める目的

大学の教育研究活動の状況について評価を行い、あわせて大学の自律的な質の向上及び改善を支援し、もって我が国の大学の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

前記2の目的を達するため、次の事業を行う。

- （1）教育研究水準の向上に資するために行う大学の教育研究活動等の状況の評価の実施に関する事業
- （2）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 会員の状況

（単位 校）

区分	令和2年度末 (R3.3.31)	退会	入会	令和3年度末 (R4.3.31)
大学	350	5	1	346
短期大学	25	1	1	25
合計	375	6	2	371

6. 事務所

東京都千代田区九段北四丁目2番11号

7. 役員等に関する事項

（1）役員

（任期 令和2年7月28日～令和4年6月の定時評議員会終結の時まで）

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
理事長 (代表理事)	石井 正彦	非常勤
副理事長	安井 利一	非常勤
常務理事	伊藤 敏弘	常勤
理 事	青木 二郎	非常勤
理 事	石津 和彌	非常勤
理 事	小出 秀文	非常勤
理 事	清水 一彦	非常勤
理 事	瀬戸熊 修	非常勤
理 事	瀬野 隆	非常勤
理 事	高井 昌史	非常勤
理 事	高柳 元明	非常勤
理 事	塚本 英邦	非常勤
理 事	中山 峰男	非常勤
理 事	水戸 英則	非常勤
理 事	三輪 博美	非常勤
理 事	山谷敬三郎	非常勤
監 事	遠山 耕平	非常勤
監 事	三田村典昭	非常勤

理事 16人 監事 2人 (令和4年3月末現在)

(2) 評議員

(任期 令和2年7月28日～令和6年6月の定時評議員会終結の時まで)

(五十音順)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員・議長	福井 直敬	非常勤
評議員	泉屋 吉郎	非常勤
評議員	小野 長門	非常勤
評議員	弦間 昭彦	非常勤
評議員	後藤 泰之	非常勤
評議員	鈴木 勉	非常勤
評議員	谷岡 一郎	非常勤
評議員	鶴 衛	非常勤
評議員	野原 明	非常勤
評議員	畑山 浩昭	非常勤

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	福井 一光	非常勤
評議員	本山 秀毅	非常勤
評議員	森田 嘉一	非常勤
評議員	焼廣 益秀	非常勤
評議員	柳澤 章	非常勤
評議員	六鹿 正治	非常勤
評議員	渡邊 秀俊	非常勤

評議員 17人（令和4年3月末現在）

辞任等

役 職	氏 名	常勤・非常勤
評議員	森本 正夫	非常勤

（令和3年6月1日逝去）

8. 職員に関する事項

（1）職員数等

（単位 人）

職員数	令和2年度末 (R3.3.31)	増員	減員	令和3年度末 (R4.3.31)
計	20〔9〕	1〔7〕	1〔7〕	20〔9〕

*〔 〕は研修員（外数）

令和2年度に正職員を公募し、令和3年4月1日付で1人を採用した。

（2）事務局（課長以上）

（単位 人）

事務局長	部 長	次 長	課 長
1	3〔1〕	1	3

*〔 〕は兼職者（内数）

9. 許認可に関する事項

（1）登記事項（※日付は届出日）

- ① 理事の辞任（令和3年4月2日付）
- ② 評議員の辞任（令和3年6月30日付）

（2）行政庁等に対する届出等（※日付は届出日）

- ① 理事の辞任（文部科学省）（令和3年4月2日付）
- ② 理事の辞任（内閣府）（令和3年4月21日付）
- ③ 事業報告等の提出（内閣府）（令和3年6月30日）
- ④ 評議員の辞任（内閣府）（令和3年7月16日付）
- ⑤ 事業計画書等の提出（内閣府）（令和4年3月30日）

(3) 内閣府の立入検査

実施日 令和4年1月25日 検査官2人

調査内容（ヒアリング及び資料確認）

- ・法人のガバナンス、会計処理の状況、公益目的事業（認証評価事業）の実施状況 等
- 指摘事項 なし

II 項目別事業報告

1. 大学等の教育研究活動等の評価事業

大学等からの認証評価の申請を受理し、評価基準をもとに各大学等が自己点検・評価の結果としてまとめた自己点検評価書に基づき、書面調査、実地調査を実施し、教育研究活動等の総合的状況を評価するとともに、自己点検・評価の検証を行い、評価基準に適合しているか否かの判定を行う事業である。

なお、第3期評価システムの4年目である令和3年度は、令和2年度に引続き、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、セミナー、評価員会議、実地調査など評価事業及び評価に関する各種委員会について、全てWeb会議システムを利用して実施した。また、一部のセミナー等については、動画配信により実施した。

(1) 大学機関別認証評価

【令和3年度認証評価】

① 大学機関別認証評価の実施

令和3年度は、認証評価56校（私立56校）の評価を実施した。また、大学の依頼により、2校の事前相談と5校の事後相談をそれぞれ実施した。

- ・評価結果は次のとおり

認証評価56校について、「適合」55校、「不適合」1校と判定した。

認証評価（五十音順）

適合55校

（私立）

愛知文教大学、愛知みずほ大学、SBI 大学院大学、江戸川大学、
大阪音楽大学、大妻女子大学、岡山商科大学、嘉悦大学、金沢学院大学、
鎌倉女子大学、岐阜女子大学、九州看護福祉大学、九州国際大学、
京都先端科学大学、桐生大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、
神戸常盤大学、国際医療福祉大学、志学館大学、静岡理工科大学、
修文大学、十文字学園女子大学、湘南医療大学、昭和大学、
昭和音楽大学、仁愛大学、成安造形大学、帝京大学、東京工科大学、
東京女子体育大学、同朋大学、長崎外国語大学、名古屋文理大学、
奈良大学、新潟経営大学、新潟国際情報大学、西日本工業大学、
日本歯科大学、梅光学院大学、函館大学、ハリウッド大学院大学、

比治山大学、広島文化学園大学、びわこ学院大学、福山平成大学、
富士大学、北陸大学、北陸学院大学、北海学園大学、北海道科学大学、
南九州大学、武蔵野音楽大学、ヤマザキ動物看護大学、麗澤大学

不適合 1 校
(私立)
三育学院大学

【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和 3 年 7 月～
・ 実地調査実施 (原則 2 日間)	令和 3 年 10 月 5 日～11 月 19 日
・ 意見申立て審査会審議	令和 4 年 2 月 21 日
・ 大学評価判定委員会審議	令和 4 年 1 月 31 日、3 月 3 日
・ 理事会承認	令和 4 年 3 月 16 日
・ 文部科学大臣へ報告	令和 4 年 3 月 17 日
・ 評価結果公表	令和 4 年 3 月 25 日

② 大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

- ア. 大学評価判定委員会 (開催 4 回/委員 18 人)
- イ. 評価員養成検討委員会 (開催 4 回/委員 7 人)
- ウ. 評価システム改善検討委員会 (開催 4 回/委員 10 人)
- エ. 意見申立て審査会 (開催 1 回/委員 5 人)

③ 評価結果報告書の作成等

令和 3 年度大学機関別認証評価の実施大学について、大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た 56 校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係大学等に評価結果を報告するとともに、ホームページで公表した。

- ・ 令和 3 年度認証評価 評価結果報告書 ホームページ掲載 (令和 4 年 3 月 25 日公表)

④ 評価員セミナーの開催

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解、認識が必要となる。令和 3 年度大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意点などをまとめた動画を作成し、期間限定で配信した。また、Web 会議システムを利用して評価員間で情報共有を行った。

【説明動画】

配信期間 令和 3 年 6 月 28 日～11 月 19 日
受講者 令和 3 年度 評価員 274 人

⑤ 団長セミナーの開催

評価作業の平準化及びオンラインでの評価実施に関する留意点を共有するために、Web 会議システムを利用して開催した。

開催日 令和3年7月19日、20日、21日、26日、27日

参加者 56人

⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催

令和3年4月22日、27日及び28日に開催を予定していた「大学・短期大学評価セミナー」は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、動画配信形式にて開催した。

⑦ 評価のフォローアップに関する事業

過年度の認証評価で「適合」の判定を受けた大学のうち、「改善を要する点」として指摘があった16大学から計34件の改善報告を受けた。改善報告等審査会及び大学評価判定委員会において改善報告の内容に関する審査を行い、審査結果の詳細を大学に通知した。

その他、認証評価のフォローアップとして、大学から講評や相談などの求めに対し、当機構において審議を行い、対応した。

ア. 改善報告等審査会（開催2回／委員5人）

イ. 大学への講評・相談の実施（随時）

⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、当機構の役職員を講師として派遣する事業であり、令和3年度は、次のとおり実施した。

・講師派遣事業の実施 4機関

【令和4年度認証評価】

① 令和4年度大学機関別認証評価の申請受理

令和4年度は、認証評価67校及び追評価1校（令和2年度認証評価「不適合」）の申請を令和3年7月に受理した。

【申請大学】（五十音順）

・認証評価 67校

（私立）

愛知東邦大学、大阪経済法科大学、大阪樟蔭女子大学、大阪保健医療大学、大手前大学、鹿児島純心女子大学、金沢工業大学、川村学園女子大学、関西国際大学、関西福祉科学大学、吉備国際大学、九州共立大学、

九州女子大学、金城大学、甲南女子大学、国土舘大学、作新学院大学、四国学院大学、静岡産業大学、四天王寺大学、柴田学園大学、秀明大学、尚美学園大学、女子栄養大学、鈴鹿医療科学大学、星槎道都大学、星城大学、相愛大学、崇城大学、第一工科大学、高松大学、宝塚大学、千葉商科大学、鎮西学院大学、東海学院大学、東京有明医療大学、東京音楽大学、東京成徳大学、東京富士大学、東都大学、東北芸術工科大学、名古屋経済大学、名古屋産業大学、名古屋女子大学、日本工業大学、日本体育大学、日本医科大学、日本獣医生命科学大学、日本文化大学、人間環境大学、人間総合科学大学、姫路獨協大学、弘前医療福祉大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島都市学園大学、平成音楽大学、平成国際大学、松本大学、松本歯科大学、美作大学、宮崎国際大学、宮崎産業経営大学、武蔵野学院大学、ものづくり大学、横浜薬科大学

・ 追評価 1校

(私立)

東北生活文化大学

② 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催（短期大学と合同開催）

令和4年度の認証評価を申請した大学及び短期大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改訂の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価のプロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、Web 会議システムを利用した説明会を開催した。

開催日 令和3年9月27日、28日、30日

参加校数 大学67校

(2) 短期大学機関別認証評価

【令和3年度認証評価】

① 短期大学機関別認証評価の実施

令和3年度は、認証評価7校（私立）の評価を実施した。また、短期大学の依頼により、1校の事後相談を実施した。

・ 評価結果は次のとおり

認証評価7校について、「適合」と判定した。

認証評価

適合7校

(私立)

大阪音楽大学短期大学部、大妻女子大学短期大学部、
鎌倉女子大学短期大学部、昭和音楽大学短期大学部、
比治山大学短期大学部、びわこ学院大学短期大学部、
北陸学院大学短期大学部

【評価スケジュール】

・ 書面調査実施	令和3年7月～
・ 実地調査実施（原則2日間）	令和3年10月5日～10月7日
・ 短期大学評価判定委員会審議	令和4年2月2日、3月7日
・ 理事会承認	令和4年3月16日
・ 文部科学大臣へ報告	令和4年3月17日
・ 評価結果公表	令和4年3月25日

② 短期大学機関別認証評価に関する委員会等の開催

ア. 短期大学評価判定委員会（開催4回／委員10人）

イ. 短期大学意見申立て審査会（開催1回／委員5人）

③ 評価結果報告書の作成等

令和3年度短期大学機関別認証評価の実施短期大学について、短期大学評価判定委員会の判定及び理事会の承認を得た7校の評価結果報告書を作成し、文部科学省、報道機関、その他関係短期大学等に評価結果を報告するとともに、ホームページで公表した。

・ 令和3年度認証評価 評価結果報告書 ホームページ掲載（令和4年3月25日公表）

④ 評価員セミナーの開催（大学と合同開催）

評価員は、評価基準等の評価システムを熟知するとともに、高いレベルでの共通理解、認識が必要となる。令和3年度短期大学機関別認証評価を担当する評価員に対して、評価員としての業務や留意点などをまとめた動画を作成し、期間限定で配信した。また、Web会議システムを利用して評価員間で情報共有を行った。

【説明動画】

配信期間 令和3年6月28日～11月19日

受講者 令和3年度 評価員 35人

⑤ 団長セミナーの開催（大学と合同開催）

評価作業の平準化及びオンラインでの評価実施に関する留意点を共有するために、Web会議システムを利用して開催した。

開催日 令和3年7月19日、20日、21日、26日、27日

参加者 7人

⑥ 大学・短期大学評価セミナーの開催

令和3年4月22日、27日及び28日に開催を予定していた「大学・短期大学評

価セミナー」は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、動画配信形式にて開催した。

⑦ 評価のフォローアップに関する事業

過年度の認証評価で「適合」の判定を受けた短期大学のうち、「改善を要する点」として指摘があった短期大学からの改善報告はなかった。

⑧ 内部質保証の充実等に関する支援事業

各短期大学の自主的な内部質保証の充実及び教育研究活動等の自律的な展開を支援・促進するため、当機構の役職員を講師として派遣する事業であるが、令和3年度は、短期大学から依頼がなかったため実施しなかった。

【令和4年度認証評価】

① 令和4年度短期大学機関別認証評価の申請受理

令和4年度は、認証評価2校の申請を令和3年7月に受理した。

【申請短期大学】（五十音順）

・ 認証評価 2校

（私立）

東海学院大学短期大学部、松本大学松商短期大学部

② 大学・短期大学自己評価担当者説明会の開催（大学と合同開催）

令和4年度の認証評価を申請した大学及び短期大学の自己評価担当者等の関係者を対象に、当機構が実施する認証評価について、理解を深めることを目的とし、評価システム改訂の経緯をはじめ、認証評価の基本方針や評価基準、自己点検評価書等の作成及び評価のプロセスについてまとめた動画を作成して配信した。その後、Web会議システムを利用した説明会を開催した。

開催日 令和3年9月27日、30日

参加校数 短期大学2校

（3）ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価

令和3年度は、令和2年度の認証評価について検証を行った。

① ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価に関する委員会等の開催

ア. ファッション・ビジネス系専門職大学院評価判定委員会（開催1回／委員7人）

2. 評価に関する調査・研究

（1）評価基準等の調査研究

① 評価システムの改善

評価システム改善検討委員会の開催

評価システム改善検討委員会において、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和3年度の認証評価の実施方法、専門職学科を持つ大学と専門職大学の認証評価への対応及び令和4年度の認証評価の実施方法等を検討した。

評価システム改善検討委員会（開催4回／委員10人）

② 大学の内部質保証に関する調査・研究

第3期評価システム検証のため、平成30年度から令和2年度に当機構の認証評価を受けた74大学・3短期大学に対しアンケート調査を行うとともに、6大学のインタビュー調査を行った。

・アンケート調査

期間：令和3年6月11日～7月21日

対象校：74大学、3短期大学

回答校：61大学、2短期大学

・インタビュー調査（オンライン）

沖縄国際大学（令和3年10月8日）

京都医療科学大学（令和3年10月21日）

足利大学（令和3年10月26日）

大和大学（令和3年10月28日）

東京未来大学（令和3年11月29日）

・インタビュー調査（対面）

田園調布学園大学（令和3年11月30日）

③ 国内外の評価団体及び大学に対する調査・研究

専門職大学・専門職短期大学の質保証について、国内の実態と課題を調査研究するため、2専門職大学、1専門職短期大学に対しインタビュー調査を行った。また、海外の職業教育訓練機関の質保証について課題と実態を調査研究するため、タイの評価団体であるONESQAにオンラインでインタビュー調査を行った。

・専門職大学・専門職短期大学の質保証に関する調査・研究（国内）

インタビュー調査（オンライン）

高知リハビリテーション専門職大学（令和3年7月8日）

インタビュー調査（対面）

国際ファッション専門職大学（令和3年6月10日）

ヤマザキ動物看護専門職短期大学（令和3年6月18日）

・専門職大学・専門職短期大学の質保証に関する調査・研究（国外）

インタビュー調査（オンライン）

Office for National Education Standards and Quality Assessment、タイ
（令和4年3月2日）

(2) 国際関係

① 諸外国の質保証機関等との交流促進

海外の評価機関との協力体制を構築するため、令和3年度は、協力協定を締結した機関との交流活動を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み中止した。

② 国際会議への参加等による情報収集

諸外国の高等教育の質保証の最新動向を把握するために、高等教育の質保証や評価に関わる国際的な機関等に加えするとともに、国際会議等へ適宜参加して、情報の収集に努め、当機構の今後の評価システム改善等の検討材料とすることを目的としている。令和3年度は、各種国際会議に参加する予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況により、それらの多くが延期又は中止となる中で、以下の会議については、会員としてWeb会議システムを利用してオンラインで参加した。

・ 2021 CHEA Summer Roundtable

開催日：令和3年6月17日

・ 2021 APQN Academic Conference

開催日：令和3年11月25日

3. 機構の運営機能の充実・強化

(1) 評議員会及び理事会

令和3年度の評議員会は6月と翌年3月の2回、理事会は6月、12月、翌年3月に各1回の計3回、それぞれWeb会議システムを利用して開催した。

評議員会	開催日
評議員会	令和3年6月23日
臨時評議員会	令和4年3月24日

理事会	開催日
第1回 理事会	令和3年6月8日
第2回 理事会	令和3年12月14日
第3回 理事会	令和4年3月16日

(2) 監事監査

定款及び規程に則り、事業報告、財務諸表等及び理事の職務執行状況の監査等、監事監査を実施した。令和3年5月31日に監査報告書を作成し、第1回理事会及び評議員会において監事が報告を行った。

(3) 会員制度

会員校への情報提供として、評価充実協議会の開催、メールマガジンの配信、機関誌の送付を行った。

(4) 企画運営会議の開催

当機構の目的及び将来構想並びに当機構の評価システムの見直し改善及び今後の方向性等に関する具体的な事項について、Web 会議システムを利用して開催した。

企画運営会議（開催 1 回／委員 8 人）

(5) 評価充実協議会の開催

認証評価機関として、現状、今後のあり方、更には将来の展望について、会員大学の理事長、学長、事務局長、評価担当者等の大学関係者、その他教育関係者、行政、一般社会人を対象に、教育の質の維持・向上に対する啓発を目的として「評価充実協議会」を開催した。令和 3 年度は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、動画配信形式で行った。

- ・ 報告「本機構の活動状況について～令和 2 年度認証評価を中心に～」
報告者 伊藤敏弘 常務理事・事務局長
- ・ 講演「私立大学の内部質保証に向けた経営責任者の課題
～コロナ対応と学校法人ガバナンスの見直し～」
講師 西井泰彦 私学高等教育研究所主幹、学校法人就実学園理事長
- ・ 令和 2 年度 認証評価を受審して
事例発表 1 「内部質保証の取組み～法人運営を中心に～」
講師 茂木明 学校法人埼玉医科大学常務理事・事務局長
事例発表 2 「内部質保証の取組み～教学面を中心に～」
講師 竹内治彦 岐阜協立大学学長
事例発表 3 「法人全体の内部質保証～大学・短期大学の同時受審を経験して～」
講師 松田藤夫 学校法人作陽学園副理事長

配信期間	開催方法	参加者
令和 3 年 7 月 1 2 日～7 月 3 0 日	動画配信 (限定公開)	延べ約 1, 0 0 0 人 (関係機関含む。)

(6) 当機構の自己点検・評価等

当機構の今後の改革・改善に資するため、規程や委員会組織を見直し、自己点検・評価に着手した。令和 5 年度にかけて自己点検・評価報告書を作成し、外部評価を実施する予定である。

自己点検・評価実施委員会（開催 2 回／委員 6 人）

自己点検・評価専門委員会（開催 3 回／委員 1 8 人）

(7) 職員等の研修の充実

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、研修員等経験者と職員との合同での職員等

勉強会、評価に関連する勉強会及び研修員の研修成果報告会は、感染症対策を講じた上で開催した。令和3年度は、コロナ禍の影響により認証評価受審大学への訪問等ができなかったことを踏まえ、研修員等が大学見学及び当該大学教職員との面談を行い、認証評価担当者としての理解を更に深めることを目的とした施設見学会を新たに実施した。

また、専門的知識の習得のため、オンラインで参加できる団体等の研修会へ参加した。

(8) 業務時間の短縮

新型コロナウイルスの感染拡大で発令された政府の緊急事態宣言及び東京都の要請等を受け、令和3年4月26日から10月22日までの期間、令和4年1月21日から3月18日までの期間、業務時間を短縮した。

4. 広報及び啓発活動

(1) 広報委員会の開催

当機構の今後の広報活動の充実を図るため、広報に関わる基本方針や方向性などについて、Web会議システムを利用して開催した。

- ・ 広報委員会（開催1回／委員8人）

(2) 広報誌等の刊行

認証評価機関としての活動状況及び評価結果を公表するとともに、評価の意義、内容、手続き等について、大学関係者をはじめ一般社会に広く理解してもらうため、令和3年度は、次のとおり広報誌等を作成し、会員校、関係大学、関係行政機関等へ送付した。

- ・ PeeR（機関誌）Vol. 16 令和3年7月 全8ページ 6,000部

(3) 情報公開

定款等に基づき、公益財団法人として必要な情報をホームページ等に公開するとともに、評価結果、各種マニュアルなどを適宜ホームページに掲載した。

(4) その他の情報発信

委員会の開催状況や評価に関する事業の紹介など、メールマガジンで会員校及び評価員等へ積極的に発信した。

また、教育学術新聞（日本私立大学協会発行）へ「日本高等教育評価機構だより」を掲載した。

- ・ メールマガジンの配信（会員校、評価員等宛） 毎月末1回 配信先約1,800件
- ・ 教育学術新聞への掲載 令和3年4月～令和4年2月 5回掲載

【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

以上